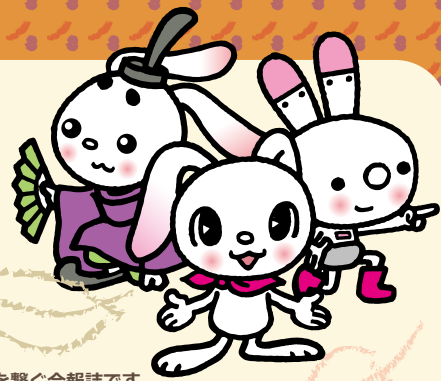


エコチル どすえかわら版

Vol.12

エコチルどすえかわら版 はエコチル調査京都ユニットセンターと京都・長浜・木津川の参加者の皆さまを繋ぐ会報誌です



こんにちは！中山センター長



中山 健夫 (なかやま たけお)

エコチル調査京都ユニットセンター長 / 京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻健康情報学分野 教授

みなさん、こんにちは！
ようやく秋になって体力回復のエコです。
ゆうも4歳になりましたよ。エコチルキッズの
みんなもお元気ですか？
今日はエコチル調査京都ユニットセンターのセンター長、
中山健夫先生とお会いするんです。「センター長」に
直接インタビューなんて、はじめてなのです！！
少し緊張します～！でも、今回はゆうが幼稚園に
行っている間にお会いできるので、いつもより
落ち着いてお話を聞くことができるかな
と思っています。



えこさん それにしても・・・京都ユニットセンターのオフィスはあっちだったから、先生は少し離れたところにいらっしゃるんですね。京都大学って、自転車で移動しなきゃならないくらいほんとうに広いわ。ええと・・・「社会健康医学系専攻 健康情報学」は、ここの建物の2階ね。はじめまして、中山先生。エコチル参加者のエコです。京都地区で調査に参加しています。今日は、よろしく願いいたします。

A
中山先生 こんにちは。4月から京都ユニットセンターを引き継いだ中山健夫です。エコさんはエコチル調査に参加してくださっているんですね。ご協力どうもありがとうございます。エコチル調査は子どもたちの健やかな成長や、お母さん方の支援に役立つ科学的知見を明らかにする一大プロジェクトですが、参加者の方々と研究者の距離の近さが良いですね。こうして、直接お目にかかれてとても嬉しく思います。

Q1 社会健康医学って何ですか？

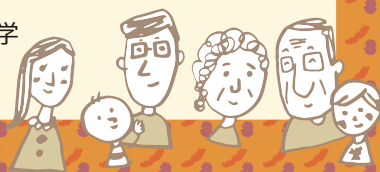
えこさん 私もとっても嬉しいです！先生はこの4月からエコチル調査京都ユニットセンターのセンター長になられたんですね。初代の小西郁生先生（本学名誉教授）は「婦人科学産科学の先生」、次の平家敏男先生は「発達小児科学の先生」でした。中山先生は「社会健康医学系専攻 健康情報学分野の先生」でいらっしゃるんですね。・・・あの、先生。私も妊娠と出産を経験したので「産婦人科の先生」も「小児科の先生」も、何となくですが

イメージできるんです。でも「社会健康医学」っていう言葉は初めて聞きました。うーん、イメージがわかりません。いったいどんなことを研究されているのですか？

A
中山先生 健康と医療問題はとても幅広く、複雑になっています。医療は狭い意味では病院の中の話ですが、さまざまな問題は病院の中で起こることもあれば、病院の外、家庭や地域、職場といった社会の中で起こることも、たくさんあります。もちろん医療も医者が勝手にやって良いものではありませんから、医療そのものも社会の中で捉えていく必要があります。より良い医療や社会を目指す医学の専門領域として2000年、京都大学に社会健康医学の大学院が設置されました。伝統のある欧米の専門大学院を一つのモデルとして、これまでの公衆衛生の考えを発展させたものです。

えこさん あの・・・先生。「公衆衛生」とは何でしょうか。聞きなれない言葉なのですが。

A
中山先生 簡単に言えば、「公衆」は「みんな」、そして「衛生」は「命を守る」ことです。憲法にも「国は公衆衛生の向上に努める」と述べられています。ですから、少しでも多くの人たちが、健康でいきいきと生きて、穏やかに一生をまっとうできるような社会を目指す医学が「公衆衛生」と言えます。



えこさん え！これまであまり気に留めたことがなかったのですが、私たちにとても関係のあることなんですね！

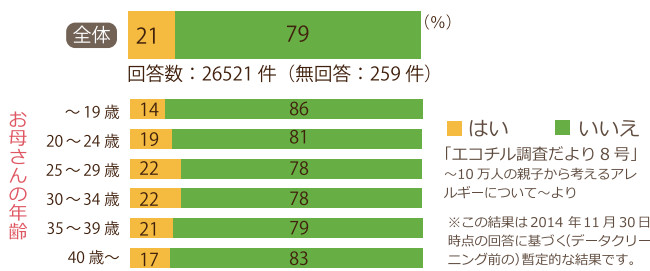
A 中山先生 エコチルは、子どもたちとお母さん・お父さんの健康に関わる問題に取り組むもので、臨床であれば産科、小児科、そして社会健康医学の視点が必要でも欠かせません。私自身、京大がエコチルに参加しようとした時、小西郁生先生と環境省でのプレゼンテーションを一緒にした時からの関わりです。産婦人科の小西先生、小児科の平家先生から社会健康医学の私が3代目のセンター長を引き継いで、改めて大きな責任を感じています。

えこさん では、始めからずっとエコチルに関わってくださっていた中山先生にバトンパス、ということですね。とても心強いです！「医療」というと、どうしても自分が「病院に行く」「病院で受ける」といったイメージを持っていました。けれど、健康な生活を送るためには私たちの暮らしの中から見つめていく必要があるんですね。だから「公衆衛生」や社会健康医学の考えが欠かせないというわけですね。何だか急に「医療」に対するイメージが広がったように感じます。

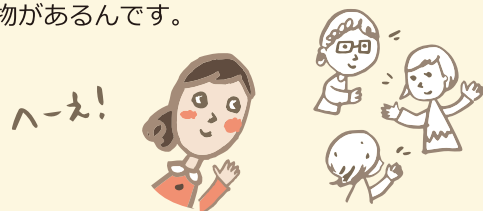
Q2 調査結果について

えこさん 早速ですが先生、今日はこのグラフについて教えていただけないでしょうか。全国版の情報誌「エコチルだより8号」に掲載してあったアレルギーに関するグラフです。

2歳 医師の指定以外で特定の食べ物を食べないようにしたことがありますか？



「食べないようにしている食べ物」はありますか？という問いなのですが、その中でもこのグラフは興味深かったです。インターネットやママ友との会話を通して、様々な情報が入ってきます。私もお医者さんに「除去しなさい」とはっきり言われたわけでも、検査を受けたわけでもないんですが、何となくやめておこうかなって思って、ゆーに積極的に食べさせなかった食べ物があるんです。



子育てに関しては10人くらいのママ友との会話の中でも6人くらいがそうただけで「みんなやってるのね！」なんて思っちゃう自分がいて・・・でも、私がいるのは、ほんの小さな集団なんですよ。こんなふうにならぬ全国的なエコチル参加者の方々の回答を基にした調査結果のグラフを見ると、自分の子育てを冷静に眺めることができますね。けれど、ちょっと物足りなくて。グラフの見方と一緒に「これは子どもにダメだということが分かりました。こうしたほうが良いです！」といった、きっぱりしたアドバイスも一緒にいただけたらなあ、と思うのですが。

A 中山先生 調査で何か分かったことをすぐ知りたい、というのは本当にその通りですね。良いことだったら早く取り入れたいし、良くないことだったらなおさら早く何とかしたいですね。エコチルは多くの方に参加いただき、研究を行う側も大きな努力を払って取り組んでいる大規模調査です。だからこそ信頼性の高い結果が得られ、その価値も大きいわけですが、同時にその影響もとても大きくなるでしょう。それは素晴らしいことなのですが、もし検討が不十分な段階で「何が悪い・何が悪い」という結果を発表してしまったら、どうでしょうか。そして、その後、その結果を見直さなければいけないようなことが起こったら、どうなるのでしょうか。マスメディアやインターネットには、その場の「受け」を狙うような無責任な記事や情報があふれています。それに振り回されているお母さん・お父さんが沢山います。エコチルからは、絶対にそのような情報を発信してはいけないのです。人間は多様性や個性が大きいので、多数の人間からのデータを解析する疫学という科学的な方法できちんとした結果を得て、それを専門家や、時には参加者も含めた関係者で話し合っ、誤解されないように情報発信していく必要があるのです。エコチルの成果は、そのように考えていただければと思います。

えこさん なるほど。エコチル調査って日本中のすごい研究者の方々が集まって、調査と並行して研究をしている、というイメージがあります。だからこそ「結果も早く出さるだろう」なんて気楽に思っていたんです。けれど影響が大きいからこそ、責任をもって結果と情報発信を行うということを大切にされているんですね。考えてもみませんでした。私はいつも、せっかちなんですね・・・

つい「すぐに結果を知りたいな」と思ってしまいます。**A** 中山先生 もちろん調査が完全に終わらないと、何も成果が出てこないわけではありません。きちんとした結果が出て、関係者がしっかりと検討した上で、発信できる情報もこれからいろいろ出てくると思いますし

政策にも役立つでしょう。ただエコチルの結果は信頼できるとはいえ、あくまで一般論なので、個々のお子さんや家庭でどう役立てていくかは、柔軟さをなくすと、かえって不安のもとになりかねません。これは、エコチルに関わる次の大切な課題の一つと感じています。

えこさん さきほど先生が、人間は多様性や個性が大きいとおっしゃるように、家庭もそれぞれだなと感じます。私が結果を知った時に「わが子、ゆうにとってどうかな？」という視点を忘れないようにしては！改めて受け手として私たちがしっかりしなくては、と感じますね。

Q3 結果をつないでいくこと

えこさん 私が50歳くらいになって結果を知るのが楽しみです。でも同時に自分の過去の子育てと向き合うようでドキドキしてしまいます。既に我が子は大きくなっていますし、子ども時代には戻れません。調査結果を自分たち自身に役立てることってできるのでしょうか。



A 中山先生 もしかしら、エコチルから得られた成果が、直接、参加された方々に役立つ部分はごく一部なのかもしれません。でもねえこさん。社会健康医学の一つの領域に医療倫理学があります。そこで医学研究の意味として、「今日の研究は明日の医療」という言葉があります。もっと言えば、「明日の（より良い）医療」ですね。エコチル調査は、もちろん明日のより良い医療や社会に繋がっていくでしょう。それでは、私たちが受けている「今日の医療」は、どうやって作られてきたのかと思えば、言うまでもなく、私たちの前にいた、今の私たちと同じような気持ちで生きていた多くの方々が残してくれたものです。医学研究に人間が参加する大きな意味は、前の世代の残してくれたものを引き継ぎ、それに何かを付け加えて、次に引き継いでいく、という大きな取り組みに関わることとも言えるのです。



えこさん そういう視点がありますね！前の世代の方が残してくれた研究のおかげで私やゆうが健康に暮らしていることって、たくさんあるのかも・・・。つい、未来の子どもたちのことを忘れちゃって、いつも自分たちのことばかり考えてしまう私は、やっぱりまだまだだなあ～。

A 中山先生 大丈夫ですよ！エコさん。「全部、将来の世代のため」とする必要はありません。それは半分くらいで良いと思います。もう半分は、参加した方々自身に役立つものを手にできるようにしていきたいですね。それは、もしかしら「何が悪い・何が悪い」という結果ではないのかもしれませんが。そのためにも何かのタイミングで、調査に参加したそれぞれの理由、質問票に回答して感じたこと、知りたいと思ったこと、などを話し合えるような、参加者の方々が繋がる場を作っていくようなことも大切ですね。今後、ユニットセンター内でも検討していきたいと思っています。

えこさん 先生。ちょっと安心しました！今までも見知らぬママと「質問票トーク」で盛り上がった経験がありますが、13年間の調査を終えると、きっとそんな話題も山盛りですよ。調査を続けてきたことは、初対面のママさんとの壁も全てとっばらうくらいの経験なのかもしれません。子どもを通し同じ経験をした親としての集いの場、そんな機会があれば、ぜひ参加してみたいです。結果だけでなく、視点を広げることで私自身も得るものがあるように感じます。

Q4 エコチルママへのメッセージを

えこさん 今日はインタビューにお付き合いいただき、ありがとうございました。私、また自転車に乗って遊びに来ますので、これからお話を聞かせてくださいね！最後になりましたが、エコチルママへメッセージをお願いします。

A 中山先生 エコチル調査にご参加いただいていること、改めてどうもありがとうございます。エコチル調査には、皆さんと同じように、お子さんの健やかな成長を願われているエコチルママがたくさんおられます。国の進める医学研究としての意義だけでなく、一人ひとりのエコチルママが、それぞれの形で「参加して良かった」と思っていたらいいような、そんな取り組みにしていければと願っています。これからもどうぞよろしくお願ひいたします。



質問票返送ありがとう!

エコチルフェスタ2017

エリックさんと うたおう!

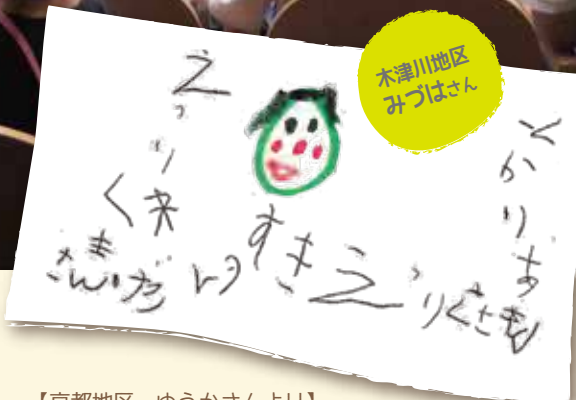


みなさまからの
メッセージ

ありがとう
ございました

長浜地区
ユウマン
さん

木津川地区
みづはさん



【京都地区・ゆうかさんより】
昨年もエコチルフェスタでエリックさんのコンサートに参加しました。息子は当時2歳3か月でしたが今年のチラシを見ると「これ、前に行ったね。また行きたい!」と言いました。大人になれば忘れてしまう記憶だとしても、たくさんの思い出作りをしたいと思う母の気持ちに添えてくれているようで嬉しくなりました。

【木津川地区・スノーピー大好きさんより】
昨年も行きました。娘二人が大喜びで、テレビで見ていたエリックさんが目の前にいて、主人も私もみんなですごく楽しい1日を過ごすことができました。エコチルのイベント、いつも楽しみにしています。

京都地区
なおんみ
さん

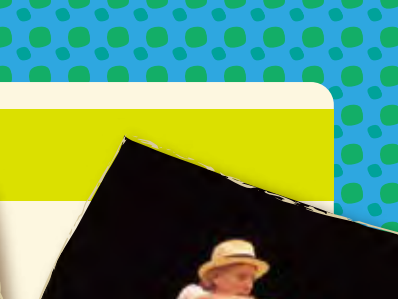
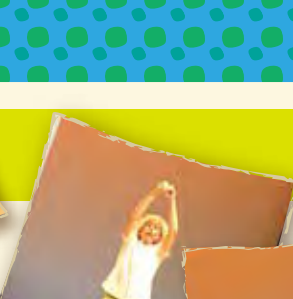


木津川地区
しょうゆちゃん



【長浜地区・投稿者さんより】
昨年も参加させていただき、親子共々とっても楽しませていただきました。今年も是非とも参加して1年成長した我が子の反応と共に楽しみたいです。

エリックさん、ありがとう!
Good job!
♡



質問票のご返送に感謝をこめて開催しています夏休みの恒例行事、京都ユニットセンターのエコチルフェスタ。今年で4回目となりました。

昨年に引き続き、今回もエコチルサポーター代表でもあります、テレビでおなじみのエリックさんのコンサートを開催しました。

三地区それぞれの会場で、午前、午後の2公演、笑顔いっぱいのエコチルファミリーにお会いできました。参加して下さった皆さま、ありがとうございました。

また、フェスタへの申込みハガキには、今年もたくさんのイラストやメッセージをお寄せいただき、ありがとうございました。ホームページでもご紹介していますが、こちらでも少しだけご紹介いたします。来られなかった方々にも、当日の様子をお届けできますように!

京都地区 7月22日(土)

同志社大学 寒梅館ハーディーホール 後援:京都市

同志社大学寒梅館は、地下鉄今出川駅のそば、烏丸通りに面したとても便利なおところにあります。今年も暑い日となりましたが、たくさんのご家族がご来場くださいました。1年ぶりにエリックさんに会うキッズも、初めてエリックさんに会うキッズも、ノリノリのステージに引き込まれ、楽しいひとときとなりました。エコチル調査の報告などは、会場のホワイエに並べたパネル展示としましたので会場の出入りの際に見てくださいました。

長浜地区 7月29日(土)

浅井文化ホール 共催:長浜市

浅井文化ホールは、最寄り駅のJR北陸本線虎姫駅から約5キロ、車で北陸自動車道の高架を超えて10分ほどのところにあります。広い駐車場がありますので、ほとんどの方は車で来られます。長浜市との共催ということもあり、午後のフェスタには今年も長浜市長さんをご挨拶に来てくださいました。長浜のスタッフは手先の器用な人が多く、仕事の合間を見つけて作りためてきた手作りのおみやげをご来場の子どもたちにプレゼントしました。みんな喜んで持って帰ってくれました。

木津川地区 7月30日(日)

木津川市山城総合文化センターアスピアやましろ 共催:木津川市

アスピアやましろは、JR奈良線棚倉駅から徒歩5分のところにあります。まずは木津川市のマスコットキャラクターいづみ姫が、ロビーで皆さんをお出迎え。大人気でした。エリックさんのコンサートを楽しむ子どもたちの歌声、笑顔、エリックさんのお話を真剣に聞く様子など全てが愛おしくて、今年もエコチルアルバムに素敵な思い出の1ページが増えました。



京都地区
はるなさん



おたよりありがとう!

エコチルフェスタの申し込みハガキで近況報告やイラストをお寄せくださった皆さま、ありがとうございました。掲載希望とお知らせくださった方の中から、一部をご紹介します。

【京都地区・かわTさんより】
将来の子どもたちや自分たちの孫(気が早い?)のために少しでもお役にたてば...と思ひ、協力させてもらっています。調査票や訪問は面倒だな~と感じることもありますが、スタッフの方の丁寧なご対応に感謝とやる気生まれます!いつもありがとうございます。

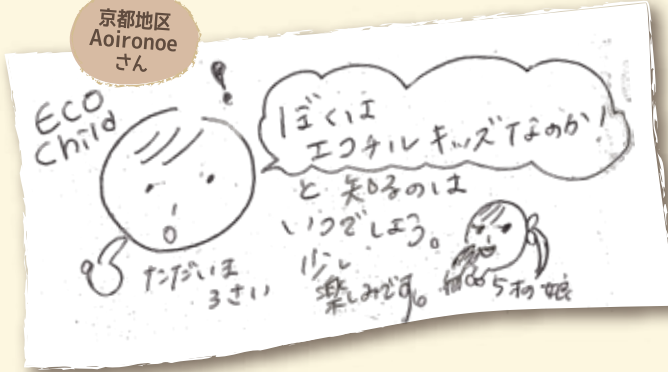
【京都地区・maddyさんより】
この間、臍帯血の調査をしたと思ったら、その娘も3歳になりました。調査を通して生活習慣のいろいろなことを見直したり、意識したりする良いきっかけになっています。

【長浜地区・SKさんより】
育児中悩んだ時にエコチル相談を利用させてもらっています。気持ちが楽になり、またポチポチ頑張ろうと思えます。ありがとうございます。子育てありのままいいんだナ~。

【長浜地区・さゆママさんより】
いつも楽しく娘と質問票の記入をしています♪娘も遊び感覚で、いつも「もっとないの?」「ねえ、次は何?」とノリノリです。時には、「え!? こんなことできなあかん年令?」と思うような質問もありますが、やらせてみると案外あっさりできたりして(できないときもありますが...)、エコチルに参加してなかったら、きっと気づくことのなかった娘の成長を発見でき、参加させてもらって本当によかったなあと感じています。エコチルありがとう♡



【京都地区・だんご3兄弟さんより】
かわら版、いつも楽しみに拝見しています。生まれたときはあんなに小さかった息子ももう3歳...早いですね。毎日笑いあり、怒鳴り声あり、ですが1日1日を楽しみながら大切に成長を見守っていきたくと思っています。息子よ、生まれてきてくれてありがとう♡



京都地区 のんさん



京都地区 ちーちゃん



木津川地区 れいらさん

それゆけ エコチルキッズ
<http://ecochil-kyoto.jp/ecochilkids/>

エコチルキッズの日々のようすを写真やコメントで紹介したり、ぬりえやイラストを投稿してみませんか? エコチル京都のホームページ内の「それゆけエコチルキッズ」は、エコチル調査にご参加されているみなさまの投稿コーナーです。たくさんのご投稿、お待ちしております。



どうして? どうして?

アンケートなどで、エコチル参加者の皆さんからいただいたご質問にお答えするコーナーです。

あれ? 知らない番号だわ...



知らないところから電話がかかってきました。出てみると、エコチル調査からでした。よく知っている番号と違うのですが... どうしてたくさんの電話番号を使っているのですか?

3地区の代表番号として下記の番号をご案内しています。

代表 **075-366-7400** ※お問い合わせ・住所変更など

3地区にまたがり、約3800名のエコチルキッズにご登録いただいている京都ユニットセンターでは、かわら版などでお知らせしている代表番号**075-366-7400**(木津川地区**0774-65-6066**)のほかにも、業務内容に応じて各地区で複数の電話番号を使用しています。そのため代表番号とは異なるお電話よりご連絡させていただく場合があります。

A いくつかの電話番号を使用しています。

たとえば... 京都地区だけでも、こんなにあります

もしもし... エコチルです

エコチル専用携帯電話

かわら版 京都イベント関連 075-366-7402

質問票関連 075-752-3250

訪問調査関連 075-771-6976



A 携帯電話よりご連絡をさせていただく場合があります。

A ショートメールをお送りすることがあります。

一部の方をお願いしている詳細調査には参加者の皆様のご自宅にお伺いする訪問調査があります。その際、エコチル専用の携帯電話を使って外出先よりご連絡させていただく場合があります。

お電話でご連絡がつきにくい方へ、ショートメールを送らせていただくことがあります。その際は下記の携帯電話よりご連絡いたします。

- ・京都大学オフィス(京都・長浜地区) **080-7029-0218**
080-7012-4005
- ・同志社大学赤ちゃん学研究センター(木津川地区) **080-7012-5834**

代表番号以外からご連絡させていただく場合、配布物に番号を記載したり、調査対象の参加者の方に事前に電話番号(携帯電話・固定電話とも)をお知らせしています。もし、ご心配なことがありましたら遠慮なく代表番号までお問い合わせください。



笑い飛ばそう! 子そだてコラム

幼稚園の体験入園

先生 「体験入園に来てくれたみんなに、幼稚園のお兄さん、お姉さんからプレゼントがあります。取りに来てくださいね。」
「.....」
長男 私のそばから離れません。すると...
次男 「ぼくがもらってくる!」
まだ幼稚園に通えない年齢の次男が、ちゃんともらいに行ってくれました。

気になることや失敗...。今になったら「まあ、いいか!」と思えてしまう。そんなエコチルスタッフの子育てコラムです。

長男は引っ込み思案で「石橋をたたいても渡らない」子。次男は何でも積極的で、考える前に行動してしまう「石橋をたたき前に渡って川に落ちる」子。同じ親から生まれ、同じ親が育てていても、性格も成長のスピードも違う兄弟(1歳4か月違い)のエピソード!

アホは禁句...

次男が3歳のとき。口癖のように「アホ!」を連発するので「アホって言ったらかん!」と、きつく叱りました。でも、つい「アホ」と言ってしまう次男。すぐに私の顔を見て、「アホウドリ~!」と言いながら立ち去りました。

あなたのエピソードも、ぜひ「それゆけ!エコチルキッズ」へご投稿ください!

各地区のイベントのお知らせ

★それぞれの対象地区のイベントチラシを同封しております。詳細は、チラシをご覧ください。

京都 プチイベント

- クリスマスライトを作ろう(キッズ対象)
開催日: 12月6日(水)
時間: 13:30~
場所: 北保健センター
- 風呂敷を使ってみよう(おとな対象)
開催日: 11月15日(水)
時間: 10:30~
場所: 宮井株式会社 4階
※お子様のご同伴はご遠慮ください。
- 開催日: 11月16日(木)
時間: 10:30~
場所: 左京保健センター
※お子様もご同伴いただけます。

長浜

エコチル☆ファミリア

- 消しゴムはんこでお正月グッズをつくろう
- 開催日: 12月7日(木)
- 時間: 10:00~11:00~
※各回約1時間程度
- 場所: 長浜市神照まちづくりセンター

木津川

エコチルカフェ

- クリスマス音楽会
- 開催日: 12月2日(土)
- 時間: 10:00~
- 場所: 同志社大学赤ちゃん学術センター

メルマガ登録方法!



ecochil-kyoto@wadm.jp

【京都地区・ドクターばんばんさんより】
いつも調査に楽しく参加しています。メルマガを毎回読み、幸せな気持ちにさせていただいています。これからもがんばってください。応援しています!

メルマガに登録しませんか?

毎月2回程度、京都ユニットセンターよりお送りするメルマガ会員になりませんか。医師や専門家によるコラム「子育て情報」と、エコチルスタッフによるコラム「ほっとひと息」をお届けしています。新規ご登録の方、アドレス変更のため再登録をご希望の方は空メールを送信してください。氏名のご登録は不要です。次回の配信より皆さまにお届けします。

質問票返送キャンペーン



6か月~2歳の4つの質問票を全てご提出くださった方に感謝をこめて「がま口」をプレゼントしてきた「2歳質問票返送キャンペーン」。4歳、6歳のプレゼントも日頃頑張っているみなさまにお使いいただけるようなオリジナルグッズを、スタッフが心をこめて選びました。詳しくはHPをご覧ください。

<http://ecochil-kyoto.jp/campaign2017/>

- 4歳キャンペーン
対象となる質問票: 2歳6か月・3歳・3歳6か月・4歳
- 6歳キャンペーン
対象となる質問票: 4歳6か月・5歳・5歳6か月・6歳

要予約 育児健康相談のお知らせ

詳細はHPをご覧ください

京都ユニットセンターに登録されているエコチル調査参加者の方を対象に、小児科医が個別に無料で面談して相談にのります。お子さんの健康や発達に関して心配なこと、気がかりなことがありましたら、お気軽にご相談ください。※薬や診断書は出ませんので、ご了承ください。※前日までにお電話にてお申し込みください。折り返し、詳細をご案内いたします。※HPの申込みフォームもご利用ください。

申込について

電話番号と電話受付時間
★平日のみ

【京都・長浜地区】
075-366-7400
9:00~16:00
【木津川地区】
0774-65-6066
10:00~16:00

【京都地区・投稿者さんより】
かわら版でエコチルママさんや、エコチルキッズたちの写真を見て成長と一緒に感じています。また、小児科の先生のお話も勉強になります。私自身、エコチル育児健康相談を利用したのですが、ゆっくり話を聞いていただき、助かりました。

全国 エコチル調査コールセンター

0120-53-5252

フリーダイヤル・年中無休
9:00~22:00

全国共通のエコチル調査コールセンターでは、調査についてのお問い合わせだけでなく、育児相談も承っています。看護師、保健師、栄養士など実務経験豊かなスタッフが親身になって対応いたします。お気軽にお電話ください。



変更はありませんか?

お引越など住所や電話番号などが変更になった場合、お手持ちの「登録内容変更届」にご記入いただき、質問票等と一緒に返送ください。または、京都ユニットセンター(木津川地区の皆さまは同志社大学サブユニットセンター Tel:0774-65-6066)までご連絡ください。

編集後記 「暑いですね…」と思わず言葉に出してしまうほどの厳しい暑さの今年の夏。そんな中、エリックさんのステージは暑さを吹き飛ばすほどのパワーでした。さて、秋が訪れ、だんだん日も短くなってきましたね。秋の夜長、虫の声を聞きながら、親子で月を眺めたり、いつもより少し長い絵本を読んだり…。また食欲の秋と言われるだけあって、秋刀魚、栗ご飯、月見団子や梨、柿、葡萄…季節を感じるおいしいものがたくさんあります。しっかり食べて夏の疲れをいやし、お子さんと一緒に体を動かし、元気にそれぞれの秋を楽しんでくださいね。「かわら版 Vol.12」お届けしました。センター長を中心に、参加者の皆さまに寄り添って歩む京都ユニットセンターでありたいと思っています。ご感想などお待ちしております。



環境省エコチル調査

京都ユニットセンター

発行 京都大学大学院医学研究科エコチル調査京都ユニットセンター
〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町53 分子生物実験研究棟129号室
Tel:075-366-7400
mail: info@ecochil-kyoto.jp
http://www.ecochil-kyoto.jp/

再生紙を使用しています
平成29年9月30日発行

